

製品名: YTHDF2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21415**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:62kD;Observed MW:62kD

抗原情報

遺伝子名	YTHDF2
別名	HGRG8
遺伝子 ID	51441.0
SwissProt ID	Q9Y5A9
免疫原	ヒト YTHDF2 の合成ペプチド

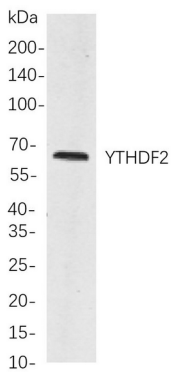
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、YTH ドメインを含む YTH (YT521-B 相同遺伝子) スーパーファミリーのメンバーをコードしています。YTH ドメインは真核生物に典型的であり、特に植物に豊富です。YTH ドメインは通常、タンパク質配列の中央に位置

し、RNA への結合に機能する可能性があります。YTH ドメインに加えて、このタンパク質はシグナル伝達に関与する可能性のあるプロリンリッチ領域を有しています。この遺伝子のイントロンの 1 つには Alu リッチドメインが同定されており、これはヒトの長寿と関連していると考えられています。さらに、急性骨髄性白血病患者において、この遺伝子と 21 番染色体上の Runx1 (AML1) 遺伝子との間の相互転座が観察されています。この遺伝子は当初 14 番染色体にマッピングされていましたが、後に偽遺伝子であることが判明しました。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。

研究分野

画像データ



YTHDF2 ウサギ mAb を用いた HEK293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。